

一般入試（医学科）

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験したもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（ただし、第6号を除く。）により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（次のア～カの一に該当する者）

ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）

オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

※出願資格(3)の力により出願する場合は、事前審査が必要となるので、出願期間開始の3ヶ月前までに本学入試課にお問合せください。

【令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目】（前期日程・後期日程）

受験を要する教科・科目		科目の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」	左記科目から1科目を選択	1
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理」「化学」「生物」	左記科目から2科目を選択	2
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。本学が指定した教科・科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者は、個別学力検査等の受験はできません。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (4) 外国語の「英語」を受験する者は、筆記試験及びリスニングの両方を受験してください。筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算した成績を、素点として利用します。筆記試験又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみを利用します。
- (5) 過年度の大学入試センター試験成績を利用することはできません。

2. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、分離分割方式（前期日程、後期日程）で実施し、令和2年度大学入試センター試験の成績、本学が実施する個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合的に審査し、判定します。

なお、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

〔2段階選抜〕

入学志願者数が前期・後期日程募集人員のそれぞれ10倍を超えた場合には、個別学力検査等を適切に実施するため、令和2年度大学入試センター試験の成績により、前期・後期日程募集人員のそれぞれ10倍程度を合格者とする第1段階選抜を行うことがあります。第1段階選抜を実施した場合は、その合格者に対して個別学力検査等を行います。

(1) 第1段階選抜を実施した場合の選抜結果は、第1段階選抜結果発表日に合格者の大学入試センター試験の試験場コード及び受験番号を、本学WEBサイトに掲載します。

また、合格者には本学の一般入試受験票を送付し、不合格者には不合格となったことを通知します。

(2) 第1段階選抜を実施しない場合は、第1段階選抜結果発表日に実施しない旨を本学WEBサイトに掲載し、入学志願者全員に本学の一般入試受験票を送付します。

※第1段階選抜結果発表日は募集要項でお知らせします。

●第1段階選抜時の大学入試センター試験の配点

国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計点
200	100	200	200	200	900

※合格者の最下位に同点者が複数いる場合は、同点者全員を合格とします。

〔前期日程〕

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
数学	出題範囲	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B
外国語	出題範囲	コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅱ
集団面接	採点評価基準	問題抽出力、口頭表現力、協調性、知識・技能、応用力等を問う

※数学Bは「数列、ベクトル」を出題範囲とします。

●大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点（本学の定める基準）

大学入試センター試験					個別学力検査等			合計点
国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	数学	外国語	面接	
100	50	100	200	100	100	100	150	900

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、個別学力検査等の成績の高い順とします。

〔後期日程〕

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
理科	出題範囲	「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」の3科目から2科目選択
集団面接	採点評価基準	問題抽出力、口頭表現力、協調性、知識・技能、応用力等を問う

※理科における2科目の受験科目は、試験当日に選択することになります。

●大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点（本学の定める基準）

大学入試センター試験					個別学力検査等		合計点
国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	理科	面接	
100	50	150	100	150	200	150	900

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、個別学力検査等の成績の高い順とします。

一般入試（看護学科）

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、令和2年度大学入学資格検定試験（以下「大学入試センター試験」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験したもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（ただし、第6号を除く。）により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（次のア～カの一に該当する者）

- ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの
- イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

※出願資格(3)の力により出願する場合は、事前審査が必要となるので、出願期間開始の3ヶ月前までに本学入試課にお問合せください。

【令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目】（前期日程・後期日程）

受験を要する教科・科目		科目の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	左記科目から1科目を選択	1
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」 「物理」「化学」「生物」	左記科目から2科目を選択 【注意事項】(5)	2
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。本学が指定した教科・科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者は、個別学力検査等の受験はできません。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (4) 外国語の「英語」を受験する者は、筆記試験及びリスニングの両方を受験してください。筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算した成績を、素点として利用します。筆記試験又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみを利用します。
- (5) 理科について、「基礎を付した」科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」）の中から2科目の選択としますが、「基礎を付していない」科目（「物理」、「化学」、「生物」）の中から選択した場合は、「基礎を付した」科目とみなして利用します。また、「基礎を付した」2科目と「基礎を付していない」科目を受験した場合は、「基礎を付した」2科目の成績を用います。
- (6) 過年度の大学入試センター試験成績を利用することはできません。

2. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、分離分割方式（前期日程、後期日程）で実施し、令和2年度大学入試センター試験の成績、本学が実施する個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合的に審査し、判定します。

なお、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

〔2段階選抜〕

入学志願者数が前期・後期日程募集人員のそれぞれ10倍を超えた場合には、個別学力検査等を適切に実施するため、令和2年度大学入試センター試験の成績により、前期・後期日程募集人員のそれぞれ10倍程度を合格者とする第1段階選抜を行うことがあります。第1段階選抜を実施した場合は、その合格者に対して個別学力検査等を行います。

(1) 第1段階選抜を実施した場合の選抜結果は、第1段階選抜結果発表日に合格者の大学入試センター試験の試験場コード及び受験番号を、本学WEBサイトに掲載します。

また、合格者には本学の一般入試受験票を送付し、不合格者には不合格となったことを通知します。

(2) 第1段階選抜を実施しない場合は、第1段階選抜結果発表日に実施しない旨を本学WEBサイトに掲載し、入学志願者全員に本学の一般入試受験票を送付します。

※第1段階選抜結果発表日は募集要項でお知らせします。

●第1段階選抜時の大学入試センター試験の配点

国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計点
200	100	200	200	200	900

※合格者の最下位に同点者が複数いる場合は、同点者全員を合格とします。

〔前期日程〕

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
小論文	採点評価基準	問題抽出力、論理的思考・判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる
集団面接	採点評価基準	問題抽出力、口頭表現力、協調性、知識・技能、応用力等を問う

●大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点（本学の定める基準）

大学入試センター試験					個別学力検査等		合計点
国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	
100	100	100	100	100	300	100	900

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、個別学力検査等の成績の高い順とします。

〔後期日程〕

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
集団面接	採点評価基準	問題抽出力、口頭表現力、協調性、知識・技能、応用力等を問う
個人面接	採点評価基準	口頭表現力、意欲等を問う

●大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点（本学の定める基準）

大学入試センター試験					個別学力検査等	合計点
国語	地歴公民	数学	理科	外国語	面接	
100	100	100	100	100	300	800

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、個別学力検査等の成績の高い順とします。

私費外国人留学生入試（医学科）

1. 出願資格

本学に入学を志願することができる者は、日本国籍を有しない者、かつ、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格「留学」を有する者、又は本学入学に際し在留資格を「留学」に変更できる者で、次の基礎資格及び出願要件を満たしているものとします。

なお、日本国の永住許可を得ている者は出願できません。

●基礎資格

次の①又は②のいずれかに該当する者とします。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）
- ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格のいずれかを取得した者

【注意事項】

- (1) 日本の国籍を有しない者で日本の高等学校又は中等教育学校における後期教育課程を履修し、かつ、卒業（見込みを含む）した者については、私費外国人留学生入試ではなく、一般入試（前期・後期）に出願してください。
- (2) 上記①の「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者」とは、外国において、最終学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていることを必要とします。

●出願要件

独立行政法人日本学生支援機構が実施する「令和元年度日本留学試験（第1回又は第2回）」の、本学が指定する科目を受験（下表参照）し、日本語（聴解・聴読解、読解の合計）、日本語（記述）のそれぞれの得点率が80%以上、かつ、理科2科目と数学の得点が、それぞれの科目の平均点以上であること。

●2019年度日本留学試験の受験を要する科目等

日本語	
理科	物理、化学、生物から2科目選択
数学	コース2

※出題言語を選択できる科目は、「日本語」を選択すること。

2. 入学者選抜方法

- (1) 大学入試センター試験を免除し、次の方法によって入学者の選抜を行います。
- (2) 出身学校（日本の高等学校又は中等教育学校に相当する学校）が発行する成績証明書の内容、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2019年度日本留学試験」の成績並びに本学が行う学力検査（数学、外国語）及び面接（基礎学力の試問を含む）の結果を総合的に審査し、選抜を行います。ただし、個別学力検査等の科目別成績が一般入試受験者の平均点を下回っている場合は、合格候補者から除外されます。
また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
数学	出題範囲	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B
外国語	出題範囲	コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅱ
個人面接	採点評価基準	態度、自分の考え、人間・社会・医療に関する関心・問題意識、自己評価能力を問う

※数学Bは「数列、ベクトル」を出題範囲とします。

●配点

数学	外国語	個人面接	総合点
100	100	150	350

私費外国人留学生入試（看護学科）

1. 出願資格

本学に入学を志願することができる者は、日本国籍を有しない者、かつ、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格「留学」を有する者、又は本学入学に際し在留資格を「留学」に変更できる者で、次の基礎資格及び出願要件を満たしているものとします。

なお、日本国の永住許可を得ている者は出願できません。

●基礎資格

次の①又は②のいずれかに該当する者としてします。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）
- ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格のいずれかを取得した者

【注意事項】

- (1) 日本の国籍を有しない者で日本の高等学校又は中等教育学校における後期教育課程を履修し、かつ、卒業（見込みを含む）した者については、私費外国人留学生入試ではなく、一般入試（前期・後期）に出願してください。
- (2) 上記①の「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者」とは、外国において、最終学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていることを必要とします。

●出願要件

独立行政法人日本学生支援機構が実施する「令和元年度日本留学試験（第1回又は第2回）」の、本学が指定する科目を受験（下表参照）し、日本語（聴解・聴読解、読解の合計）、日本語（記述）の得点が、それぞれの科目の得点率で80%以上、かつ、理科2科目と数学の得点が、それぞれの科目の平均点以上であること。

●2019年度日本留学試験の受験を要する科目等

日本語	
理科	物理、化学、生物から2科目選択
数学	コース1又はコース2

※出題言語を選択できる科目は、「日本語」を選択すること。

2. 入学者選抜方法

- (1) 大学入試センター試験を免除し、次の方法によって入学者の選抜を行います。
- (2) 出身学校（日本の高等学校又は中等教育学校に相当する学校）が発行する成績証明書の内容、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2019年度日本留学試験」の成績並びに本学が行う学力検査（小論文）及び面接（基礎学力の試問を含む）の結果を総合的に審査し、選抜を行います。

なお、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	採点評価基準	
小論文	採点評価基準	問題抽出力、論理的思考・判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる
個人面接	採点評価基準	基礎学力の試問を含む

●配点

小論文	個人面接	総合点
300	100	400